

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

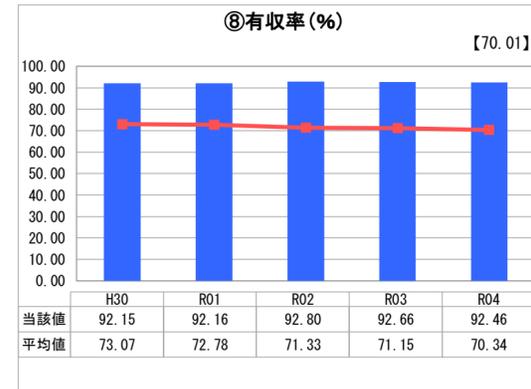
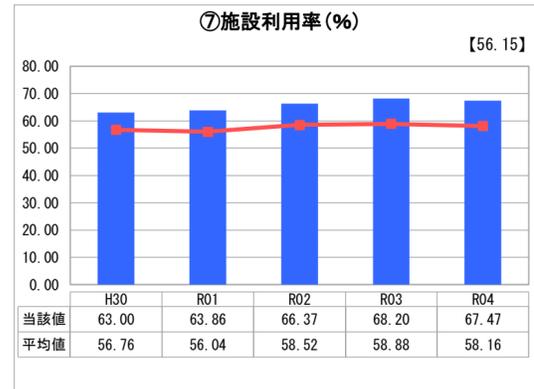
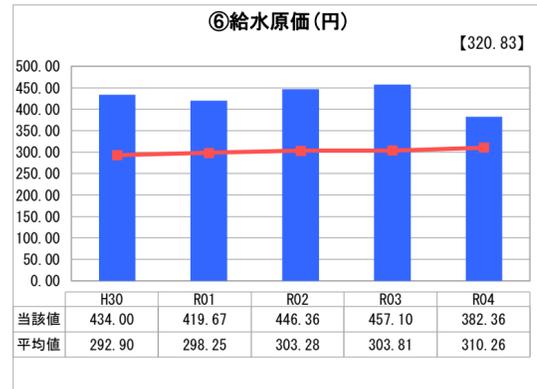
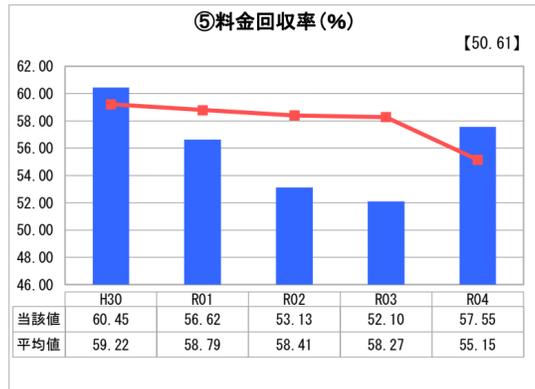
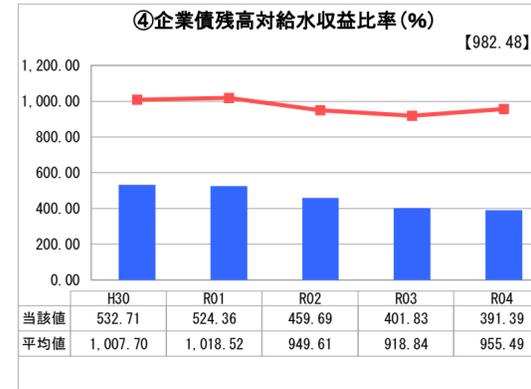
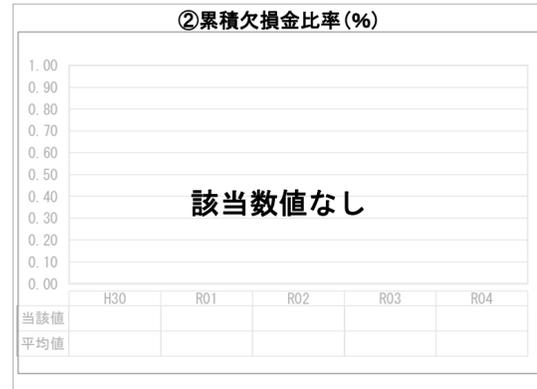
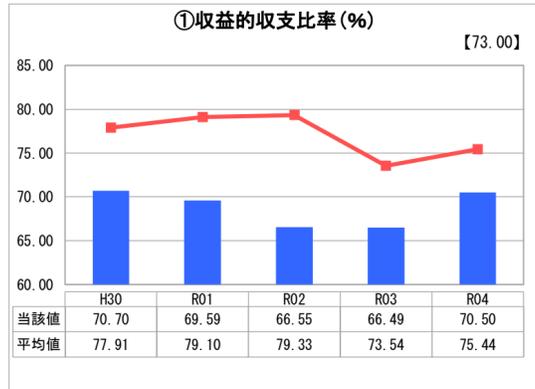
福岡県 上毛町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	53.29	4,180	

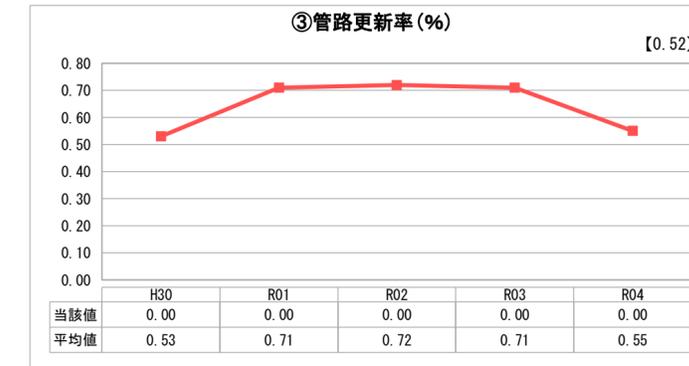
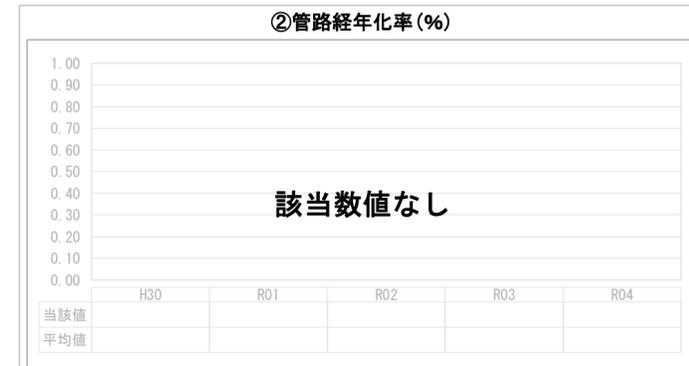
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,391	62.44	118.37
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,914	7.65	511.63

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

支出の中で地方債元利償還金が大きな比率を占めている。財源については料金収入以外主な収入がないため、一般会計からの繰入が必要である。しかし、施設利用率や有収率が類似団体平均値より高いため、給水原価を下げ、利用者に還元できている。また、料金回収率も平均値を上回っているため、設備更新費用等に内部留保ができる見込みである。

### 2. 老朽化の状況について

一部の地域を除き、給水開始から26年経過したが、現時点では管路の更新は考えていないため、管路更新率は平均値以下である。しかし、原井地区においては、給水開始から49年経過し、時折漏水が確認されているため、令和6年度より配水管布設替を実施する。また、14年後配水管の耐用年数を迎える地区については、状況を踏まえ更新または改良を今後検討する。

### 全体総括

費用においては受水費及び地方債元利償還金が大きな比率を占めているため、これ以上のコスト削減は厳しい状況である。そのため、令和6年度実施予定の経営戦略の中で、今後の経営や適切な料金体系の見直しを行い、安心して安全な水の供給を伸ばし増収に努める。